

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム神戸ひまわり

目標達成計画

作成日：平成30年1月17日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	転倒防止のさまざまな工夫を今後も継続されることを期待する。さらに、一時的であっても拘束をすることがない介護の取り組みに努力されることを望む。	転倒のリスクを減らすと共に、身体拘束排除に向けて、利用者様が安心して過ごせる環境を作る。	ヒヤリ・ハットの提出と改善を継続する。 身体拘束排除に向けて、職員の勉強会やご家族との情報交換と話し合いを重ね、拘束しない時間帯を減らし、拘束ゼロにする。	12ヶ月
2	36	認知症の理解を深めるとともに、利用者に敬意を持った話し方や対応の仕方をより多く学ぶことを期待します。	職員の認知症の理解を深め、利用者様に敬意を持った話し方や対応ができる。	認知症の理解を深める職員研修の実施。 接遇研修で礼儀や言葉遣いを改善する。 利用者様の思いを考える研修の実施。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。